



南条つ子

南条小学校だより
R1.10.24 No.63

南条つ子は 進んで学ぶ子
思いやりのある子
かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

○ ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットデー

10月22日(火)～28日(月)は、10月のノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットデーの取組期間です。この1週間のうちの2日間、できるだけ「テレビを見ない、ゲームをしない、インターネットをしない」取組をしようというものです。また、取り組み方によって、5ポイント(2日間あわせて0分)、3ポイント(2日間あわせて30分以内)、2ポイント(2日間あわせて1時間以内)、1ポイント(2日間あわせて2時間以内)のように点数化されます。

前回の9月の取組では、5ポイントを取った児童が、110名(40.3%)いました。クラスごとの平均ポイントの最高は4.14点で、特に高学年がしっかり取り組んでいるという結果が出ました。また、40名の児童が、これまで4回行った取組すべてで5ポイントを獲得しています。

毎日、テレビやゲーム、インターネットに慣れ親しんだ生活を、当たり前のように送ってきています。そこで、こういう機会を利用して、空いた時間を何か他のことに費やしてみたいかがでしょうか。何に費やすのかはそれぞれ自由ですが、実際に取り組んでみると意外に充実した時間を過ごせたと思えるのかもしれない。(ぜひそうなってほしいです。)

取り組む以上は、今回もしっかりと意識して取り組んでほしいと思います。保護者の方も、励ましをお願いします。

○ 南条地区文化祭に関するお知らせとお願い

・ステージ発表(南条文化会館)

26日(土)午後2時頃から、本校を代表して3年生が『三年とうげ』の劇を発表します。歌や踊り、マット運動や大縄跳びなど、いろんな工夫があり、楽しい劇に仕上がっています。

『三年とうげ』・・・3年生の国語の教科書に載っている韓国の民話です。

さんねんとうげという美しい峠にはこんな言い伝えがあるのです。

「三年峠で転んだならば、三年きりしか生きられぬ。」

それなのにあるおじいさんがこの峠で転んでしまったから、さあたいへん。おじいさんは、いつ死ぬかいつ死ぬかと心配のあまり、病気になり、寝込んでしまいます。

その後、おじいさんは・・・。「トルトリ」という少年の機転を利かせた解決策が見事です。

・作品展示(勤労者体育館)

午前9時から午後5時(27日は午後4時半)まで、児童の作品が展示されています。

【お願い】

大変お忙しいところ申し訳ありませんが、今年も展示作品の撤収にご協力をお願いします。27日(日)午後4時半～7時までの間に、お子様の作品を勤労者体育館まで取りに来て、お持ち帰りください。なお、毎年、残った作品の後始末のために各学年から職員を派遣していますが、今年度より派遣をやめさせていただきます。ご理解いただきますようお願いするとともに、作品が残らないように、撤収のご協力をよろしくお願いいたします。

○ 1、2、3年生、なかひま お話の会

10月24日(木)、「お話の会」を行いました。今回は、1～3年、なかひま学級が対象でした。ブックマザーの話を、どの児童も真剣に集中して聴いていました。



1年1組

『あたし、うそついたら』



文:ローラ ランキン
訳:せな あいこ
出版社:評論社

1年2組

『いもいもほりほり』
『まんまるまんまたんたかたん』



2年1組

『しょうじき50円ぶん』



文:くすきげり
絵:長野 ヒデ子
出版社:廣済堂あかつき

2年2組

『教室は まちがところだ』



文:蒔田 晋治
絵:長谷川 知子
出版社:子どもの未来社

3年1組

『ぐりとぐら』



文:なかがわ りえこ
絵:おおむら ゆりこ
出版社:福音館書店

3年2組

『コックのぼろはしっている』



文・絵:シタサカ
出版社:講談社

なかよし・ひまわり

『おおにしせんせい』



文・絵:長谷川 義史
出版社:講談社

【ボランティアの人からの感想・意見】

- ・集中してじっくり聴いてもらえました。
- ・真剣に聴いてくれました。
- ・静かに聴いてくれて、うれしかったです。
- ・みんな静かに聴いてくれました。
- ・おじさんと子どものかけ合いを楽しんでくれたようです。



【読書表彰】

各学年ごとに推薦図書が10冊ずつがあり、それらをすべて読んだ児童には、その都度、校長室で「読書賞」を渡しています。

今年度は、これまでに約40人が表彰されています。できるだけ多くの児童を表彰したいと思っています。

